

たきいNOW

臨時号



関西医科大学附属滝井病院

たきいNOWとは？

たきいNOWは、地域の皆様に滝井病院の「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。



末梢血管外科の再開について

しばらく歩くと、決まったように足がだるくなり、痛くなり、立ち止まって休んでは歩く。こんな症状は、下肢の動脈硬化による下肢筋肉への血流不足がもたらす症状です。更に、下肢静脈瘤で悩む患者さんも多いと思います。

この度、附属滝井病院では、本年2月より東京医大八王子医療センターから末梢血管外科の著名な医師、駒井宏好教授を招請しました。日常臨床でお困りの患者さんがおられましたら、非常に気さくな先生ですので、電話でお問い合わせいただければ幸いです。

関西医科大学附属滝井病院
病院長 岩坂 壽二

末梢血管外科について



関西医科大学附属滝井病院
末梢血管外科教授・血管内治療センター長 駒井 宏好

動脈硬化はがんと並んで現代の日本国民の死因の重要な疾患であるばかりか、生きている間も大変な思いをする病気です。狭心症や心筋梗塞、脳出血、脳梗塞と同じ理屈で足に血液を送る動脈にも動脈硬化が生じ、いろいろな症状が出現します。「ひとは血管とともに老いる」「足は動脈硬化の窓」などの言葉があるようにごく微細な足の症状が動脈硬化の早期発見の糸口になることがあります。同じ長生きするなら自分の足で歩きながら有意義な生活を送るようにしたいものです。また足に届いた血液を心臓に返す役割の静脈に異常が生じるとひどくはないけれど仕事や日常生活に支障のある問題が生じることがあります。我慢せず治せるものは治した方がいい場合があります。

次のような症状がある方はぜひ家庭医の先生にご相談いただき我々の病院に紹介していただければと思います。

1. ある一定距離、一定時間歩くと足が張り痛んで歩けなくなる、しかし少し休むとまた歩けるようになる。いつもこの症状が変わらない。（閉塞性動脈硬化症の可能性）

2. 足の指先に傷ができて何ヶ月みてもらってもなおらない。(閉塞性動脈硬化症の可能性)
3. 足の指先が黒くなり痛む。(閉塞性動脈硬化症の可能性)
4. 足の血管がミミズのように浮き出ている。(静脈瘤の可能性)
5. 立っているとすぐ足がだるくなり座りたくなる、こむら返り(足の「つり」)がひどい。(静脈瘤の可能性)
6. 片足だけがある日突然見てもすぐわかるほど太く腫れ上がる。(深部静脈血栓症の可能性)
7. 不整脈がありある日突然足先に堪え難い痛みが生じ、色が悪くなる。(急性動脈閉塞の可能性)
8. 無症状だがおへそのあたりにドキドキするこぶが触る。(大動脈瘤の可能性)

我々はもし治療の必要がない患者さんが来た場合、治療が必要なくてよかったですね、とご説明してお帰りいただくことを全く無駄とは思っておりません。家庭医の先生とよくご相談して遠慮なく受診下さい。但し患者さんが多いときはお待ちさせることがありますのでそのことだけはご了解ください。

【プロフィール】

昭和60年	3月	和歌山県立医科大学	卒業
平成11年	7月	和歌山県立医科大学	講師
平成14年	4月	済生会和歌山病院	勤務
平成18年	10月	済生会和歌山病院	心臓血管外科部長
平成20年	4月	東京医科大学	血管外科講師
平成23年	4月	東京医科大学八王子医療センター	心臓血管外科准教授
平成25年	2月	関西医科大学附属滝井病院	末梢血管外科教授、血管内治療センター長

現在に至る

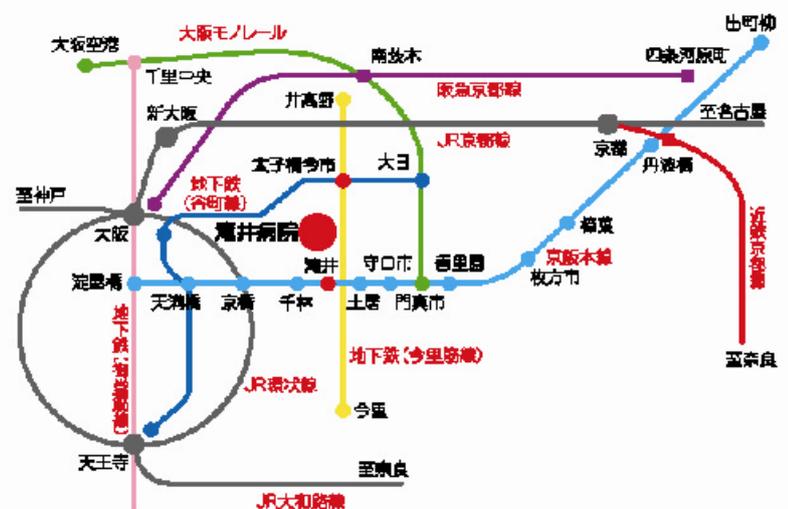
○主な所属学会

日本外科学会(認定医、専門医、指導医)、日本循環器科学会、
日本心臓血管外科学会(国際会員、専門医、修練指導者)、
日本脈管学会(評議員、専門医)、日本血管外科学会(評議員)、
日本静脈学会(評議員)、日本臨床外科学会

*診療日時：毎週木曜日 9時～12時

*問い合わせ先：〒570-8507 大阪府守口市文園町10-15
関西医科大学附属滝井病院
地域医療連携室 (06)6993-9444

アクセスマップ



関西医科大学附属滝井病院

〒570-8507 大阪府守口市文園町10番15号

TEL 06-6992-1001 (代)

HP <http://www.kmu.ac.jp/takii>

・京阪電車「滝井駅」徒歩3分

・地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」(2番出口)徒歩6分